

## 【主な出来事】

- 1日行われた大統領選挙では、得票率上位二人の現職大統領のドドン候補（親露派）と前首相のサンドゥ候補（親欧州派）が決選投票に進んだ。15日行われた決選投票の結果、サンドゥ候補が勝利した。
- 民主党が社会党との連立からの離脱を表明。キク内閣は民主党の5閣僚を解任し、5人の新閣僚を任命した。

## 1. 内政

### 大統領選挙

#### ▼1回目投票では決まらずサンドゥ候補とドドン候補による決選投票に

・1日、大統領選挙が行われた。投票率は42.76%。8人の候補者のうち過半数を獲得した候補者がいなかったため、上位2人のサンドゥ候補とドドン候補による決選投票が11月15日に行われることとなった。各候補者の得票率は次のとおり。

マイア・サンドゥ（「行動と連帯」党党首、前首相）36.16%（48.7万人）

イゴル・ドドン（現大統領）32.61%（43.9万人）

レナト・ウサトゥイ（我らの党党首、バルツイ市長）16.90%（22.7万人）

ビオレタ・イワノフ（ショール党議員）6.49%（8.7万人）

アンドレイ・ナスターセ（「尊厳と真実」党党首）3.26%（4.3万人）

オクタビアン・ツク（国家統一党党首）2.01%（2.7万人）

トゥドル・デリウ（前自由民主党党首）1.37%（1.8万人）

ドリル・キルトアカ（統一ブロック代表）1.20%（1.6万人）

・なお、在外投票（139カ所の投票所が設置）については、全体で14.9万票の投票があり、サンドゥ候補が10.4万票、ウサトゥイ候補が2.5万票、ドドン候補が0.5万票をそれぞれ獲得した。

・4日、中央選挙委員会は、今般の大統領選挙が有効に行われた旨発表した。

#### ▼決選投票でサンドゥ候補が勝利

・15日、大統領選挙の決選投票が実施され、サンドゥ候補が勝利した。投票率は52.78%であった。各候補者の得票率（括弧内は得票数）は次のとおり。

マイア・サンドゥ（「行動と連帯」党党首、前首相）57.72%（94.3万人）

イゴル・ドドン（現大統領）42.28%（69万人）

### 政府

#### ▼民主党、連立離脱を表明

・7日、フリブ民主党党首は新たな大統領が選出された後に社会党との連立を解消して閣僚5名を引き上げる旨表明。

#### ▼キク首相、内閣改造を実施

・9日、キク首相は、民主党の連立離脱表明を受け、民主党の5人の閣僚（国家再統合担当副首相、経済・インフラ相、外務・欧州統合相、国防相、教育・文化・研究相）を解任し、新たな閣僚として以下の内閣改造を発表した。

国家再統合担当副首相：オルガ・チェボタリ

経済・インフラ相：アナトル・ウサトゥイ

外務・欧州統合相：アウレリウ・チョコイ

国防相：ビクトル・ガイチュク

教育・文化・研究相：リア・ポゴルシャ

### 議会

#### ▼新会派 Pentru Moldova の設立

・2日、プロモルドバ党からの離党を表明した5名の議員は、議会内に新たな会派として Pentru Moldova を立ち上げる旨表明した。

・4日、ショール党所属の9名の議員は、議会における Pentru Moldova 会派に参加する旨表明した。これによって同会派は計14名となった。

・11日、エレナ・バカル議員はプロモルドバ党を離党し Pentru Moldova 会派に参加する旨表明した。これにより同会派は計15名となった。

### 新型コロナウイルス関連

#### ▼感染者数は約9万人、死者は2000人越え

・11月15日時点の新型コロナウイルス国内感染者数は計89279名、死者は2019名となった。

## 2. 外政

#### ▼ツレア外務・欧州統合相、南東欧協力プロセス閣僚会議に出席

・6日、ツレア外務・欧州統合相は、トルコで開催された南東欧協力プロセスの閣僚級会合に出席した。ツレア大臣は、同会合のマージンにおいて、グルリッチ＝ラドマン・クロアチア外相やトルコビッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ外相らと会談し、二国間の問題などについて話し合った。

#### ▼ナゴルノカラバフ情勢に関する外務・欧州統合省声明

・10日、外務・欧州統合省は、ナゴルノカラバフ情勢を巡る状況について声明を発表し、アルメニアとアゼルバイジャン間の停戦合意について歓迎の意を示すとともに、地域の平和に向けた重要な一歩であると評価した。

### 3. 経済

#### ▼国立銀行の独立性強化

・5日、政府は国立銀行の独立性を強化する法案を閣議決定した。同法律の採択は、IMF との新プログラム締結の条件となっていた。

#### ▼国立銀行、基本金利を0.1%引下げ

・6日、国立銀行は、今年5回目となる金利引き下げを行った。引き下げは0.1%。基本金利は年2.65%となった。

#### ▼ルーマニアとの電力網接続のための送電線建設計画

・9日、ルーマニア、トルコ、中国、インド、ロシア、カザフスタンなどの10社が、総延長158km の高圧線(ブルカネシュティ=キシニョフ間) 建設計画に応札した。ルーマニアの電力網との接続のため、送電線と共に関連施設をブルカネシュティに建設するもの。同プロジェクトの費用総額は261百万ユーロと見積もられている。

#### 経済協力

#### ▼EU、ビジネス助成金として70万ユーロ支援

・4日、カフル及びウンゲニ両県の企業は、EUから28件、総額70万ユーロの無償援助を受けることが発表された。本プロジェクトは、新型コロナウイルス後の企業活動再開のために利用される。

#### ▼EBRD、新型コロナウイルス対策に15百万ユーロ融資

・5日、EBRD は、新型コロナウイルス対策のため、モルドバに新たに15百万ユーロを融資する旨発表した。モルドバ最大の銀行であるモルドバ農業銀行(MAIB)を通じ、EU基準に準拠するための最新技術へ投資を行う中小企業に資金を貸し付ける。

#### ▼国連女性開発基金、女性起業家支援プロジェクト実施

・5日、UN Women とモルドバ中小企業開発局

(ODIMM)は、新型コロナウイルスで影響を受けた女性のエンパワーメントを目的としたパートナーシップに関する覚書に署名した。200名以上の女性起業家は新規に事業を立ち上げ、運営するためスキルを習得できる。また、35名の若手女性起業家は、ODIMM が提供する無償援助を受けることができる。

・同プロジェクトは、日本政府が UN Women を通じて実施する地域プロジェクト「欧州及び中央アジアでの新型コロナウイルスに影響を受けた脆弱な状況にある女性への緊急のニーズへの対応」として実施される。

### 4. 各種統計

#### ▼モルドバの学校数20年で20%減

・4日付報道によれば、2000~20年の間、モルドバの学校数は318校閉鎖し、現在1,255校(20.2%減)となっている。生徒数は298,119人減の333,144人(47.2%減)。教育機関の閉鎖は、学生数の大幅な減少が原因。

#### ▼1~9月の農業生産者価格

・4日、国家統計局は、今年1~9月の農産物の生産者価格が前年同期比15.7%上昇した旨発表した。野菜価格は24.3%増、家畜2.3%減など。

### 5. 対日関係

#### ▼草の根無償オンライン引渡式の開催

・12日、シュテファン・ボーダ県及びカフル県の各県病院は、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力を受け、カフル県病院は76.8千ドル、シュテファン・ボーダ県病院は79.3千ドル相当の医療機材の供与を受けた。

・ホロステンコ保健・労働・社会保障省次官は、日本政府に感謝の意を表明し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」がモルドバにおける医療機関の能力強化に関する保健省の戦略的目標と合致している旨述べた。

(了)